

稲・大豆作情報 (N0.5)

1. 水稲作況情報田の生育概況(7月30日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概 況
			草 丈 c m	茎 数 本/m ²	主稈 出葉数	葉色	
夢しずく 佐賀市 本庄町	6/15 18.1株/m ²	本 年	72.7	385	11.6	40.3	日照時間が長く、気温 が高いため、草丈は平 年よりやや低いが、有 効茎数は確保できてい る。早生品種は幼穂形 成期を迎えている。(夢 しずく：7/24頃)
		平 年	75.0	383	11.5	39.9	
		平年比	(97)	(100)	(0.1)		
さがびより 小城市 芦刈町	6/20 18.1株/m ²	本 年	65.5	441	11.4	38.9	中晩生品種は、中干し 終了時期となっている 。
		平 年	68.7	537	12.1	39.8	
		平年比	(95)	(82)	(-0.7)		
ヒヨクモチ 小城市 牛津町	6/27 18.1株/m ²	本 年	42.6	688	11.5	43.3	
		平 年	48.2	625	11.8	42.7	
		平年比	(88)	(110)	(-0.3)		

注1) 各品種 前作：麦、前前作：水稲。

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる。

2. 水稲管理

○今週の水管理と施肥

- ・中干ししている圃場で、高温と乾燥により白乾状態となっている圃場が見受けられる。根の活力が低下するため、早急に走水を行い、その後は間断灌水とする。(一気に水を溜めると下葉枯れが助長されるので、注意する)

夢しずく

- ・穂肥施用時期となっており、診断結果を基に施用する。また、幼穂形成期以降は、要水量が多い時期であるので水が切れないうち注意する。

さがびより、ヒヨクモチ

- ・中干し終了後の入水は、一度に溜め込まず、軽く田面を走らせる程度とする。

○病害虫の発生状況 ～お盆明けに防除適期を迎えます～

- ・トビイロウンカ防除の際は、湛水するとともに、株元まで薬剤が十分かかるようていねいに散布する。防除時期は、以下の表のとおり、7月20～26日に実施する。



← 防除適期 →



← 防除適期 →



※発生予想図第2報(7/27発表)

- ・いもち病の発生は、全体的に少ない傾向にあるが、進展型病斑が上位葉に発生しているようであれば、早急に防除を実施する。
- ・今後も気温が高い日が続くことが予想されるため、幼穂形成期以降、紋枯病の発生には注意する。

3. 大豆管理 ～明渠の角・水尻付近が確実に繋がっているか確認を～

○排水対策 局地的なゲリラ豪雨に備えるため、排水溝の整備を行っておく。

○培土 1回目：本葉2～3枚の頃、子葉が隠れる程度におこなう。

2回目：本葉4～5枚時に、初生葉(子葉の上の葉)まで隠れるようにおこなう。

○雑草対策

- ・イネ科雑草が多いところでは、ポルトフロアブル等で防除する。

イネ科雑草10葉期まで

30年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター

